

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公表番号】特表 2002-532242 (P2002-532242A)

【公表日】平成 14 年 10 月 2 日 (2002.10.2)

【出願番号】特願 2000-589272 (P2000-589272)

【国際特許分類】

B 0 1 F 17/52 (2006.01)

C 0 8 F 8/30 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 F 17/52

C 0 8 F 8/30

C 0 9 D 11/00

C 0 9 D 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 29 日 (2006.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 AB_n 構造（式中、A はイオン化性部分を含有する親水性ポリマーセグメントであって多官能性連鎖移動剤で終端し、B は無極性非重合疎水性炭化水素部分であり、n は 1 を越え、B 部分が A セグメントの連鎖移動剤末端で分岐セグメントを形成する。）を有するポリマーを含む、水性系中で疎水性粒子を分散するための分散剤。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の分散剤、および疎水性粒子を含む水性懸濁液。

【請求項 3】 a) 顔料粒子と、

b) AB_n 構造（式中、A はイオン化性部分を含有する親水性ポリマーセグメントであって多官能性連鎖移動剤で終端し、B は非重合疎水性炭化水素部分であり、n は 1 を越え、B 部分が A セグメントの連鎖移動剤末端で分岐セグメントを形成する。）を有するポリマーを含む、水性系中で疎水性粒子を分散するための分散剤と、の懸濁液を含む水性顔料インク。